

健康と文化の森地区  
まちづくり基本計画

2016 年（平成 28 年）3 月

藤沢市



## はじめに

藤沢市の西北部地域（遠藤地区・御所見地区）では、めざすべき将来像（まちづくりの目標）を「農・工・住が共存する環境共生都市」とし、これまでの農業地域の位置付けに加え、大学等知的社会基盤を活用した研究開発機能等を地域特性である田園・農業空間に導入し、活力ある環境共生型の都市の形成をめざしております。

その中心となるのが本市の都市拠点の一つである「健康と文化の森地区」であります。本地区は、6つの都市拠点の中で唯一市街化調整区域内に位置しており、これまでに、開発許可制度や市街化調整区域内地区計画制度を活用し、1990年（平成2年）には、文化の森地区に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが開設され、その後、2001年（平成13年）には健康の森地区に看護医療学部、2006年（平成18年）には慶應藤沢イノベーションビレッジ等が立地し、また2012年（平成24年）には慶應義塾大学に隣接する打越地区で組合土地区画整理事業が完了し、更なる学術研究施設などの立地が予定されております。

一方、いずみ野線延伸については、神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学、相模鉄道(株)の4者で構成された「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」において、ツインシティまでの延伸をめざしつつ、湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までを第1期区間として検討を進め、2012年（平成24年）3月に単線の鉄道で延線し、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近にはB駅（新駅）の設置を想定する等の検討結果をとりまとめました。

このように、B駅設置が想定される本地区において、田園空間に囲まれた環境のもと、学術・研究、活力増進機能の創出、良好な居住環境の整備など、新たな都市拠点にふさわしいまちづくりについて、専門家や関係行政機関等で構成される「藤沢市健康と文化の森地区まちづくり基本計画策定検討委員会」を設置し、市民、地権者及び地域団体等で構成する「藤沢市健康と文化の森地区まちづくり協議会」と連携して検討を進め、「健康と文化の森地区まちづくり基本構想」を策定し、これをもとに、このたびまちづくりの方針や実施内容の検討を進め、今回、「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」を策定いたしました。



# 目次

---

1	健康と文化の森地区まちづくり基本計画の位置づけ	1
2	健康と文化の森地区の位置づけと概況	2
3	まちづくりに向けた課題整理	31
3-1	健康と文化の森地区の特性や優位性	31
3-2	まちづくりに向けた課題	37
4	まちづくりのビジョン	40
4-1	まちづくりのめざす姿	40
4-2	ライフスタイルの想定	42
5	まちづくりを検討・展開する主な区域	45
6	テーマ別まちづくりの取組方針	46
6-1	環境共生のまちづくり	46
6-2	健康・医療のまちづくり	54
6-3	農を活かしたまちづくり	60
6-4	活力創造・文化・交流のまちづくり	64
7	土地利用・交通・都市施設等	70
7-1	基本的な考え方	70
7-2	土地利用	71
7-3	交通	85
7-4	都市施設	89
7-5	その他	92
8	まちづくりの実現に向けた検討・推進方策	94
8-1	まちづくりの実現に向けて	94
8-2	まちづくりのプログラム	96
	資料編	99

